

宮沢地区公民館だより



令和 4年 7月 1日
発行：宮沢地区公民館
電話・FAX22-0433

宮沢小学校の“まなび”

幻のお米「さわのはな」田植え

6月1日(水) 5~6年生の13名が近くの田んぼで「さわのはな」田植え体験をしました。農家の米作りについて学習するため、鈴木文雄さん他3名(魁)の指導を受けました。6年生は、「今年は、まっすぐできた。さわのはなは、なぜ幻の米と言うのですか。」と質問していました。鈴木さんは、「現在はほとんど作られていないお米。でも、栄養があり、味がおいしいお米です。ただ倒れやすいので。肥料を加減しています。」と答えていました。

児童たちは、おいしいお米を楽しみにどろんこになって植えていました。



サクラマス(県の魚)の放流



6月22日(水) 1~3年生の16名と玉野小学校3、4年生27名が、丹生川漁協主催のサクラマス稚魚放流体験を母袋橋下流の丹生川で行いました。はじめにサクラマスの生態を教えていただき、「今日放した稚魚(ヤマメ)は再来年の桜の季節に、ここに戻ってくる」ことを知りました。その後7500匹の稚魚を「大きくなって戻ってきてね」と声をかけながら川に放流しました。

受賞おめでとうございます！

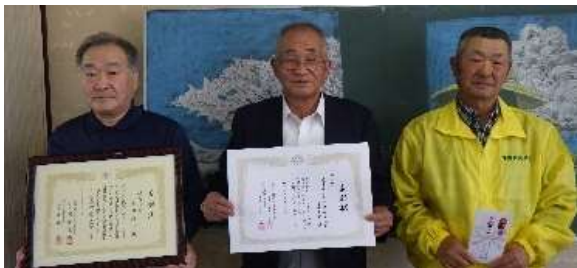
◆尾花沢地区交通安全協会より

○飲酒運転防止コンクール第1位

・交通安全協会宮沢支部

○優良役員

・吉田 清一さん ・本間 長三郎さん



翁山の安全祈願祭



翁山を愛する会が解散したので、今年度から振興連絡協議会の代表者が6月5日(日)宮沢地区公民館で安全祈願祭を行いました。翁山の登山者の安全をお祈りしました。



敬老会について

今年の敬老会は、6月21日区長会で協議した結果、感染症拡大防止と参加される方の健康を第一に考え、一堂に会しての開催は行わないことになりました。永年、社会の発展に貢献してこられた苦勞をねぎらい、敬意の意を表し、長寿をお祝いするために祝品を贈呈します。

尚、記念品の配付は下記の日程を予定しております。

・9月10日(土)東部地区 ・9月11日(日)西部地区



ふるさと物語② 稲が枯れる! クルミ平沼をさぐれ

いま緑一色の宮沢だが、稲作にとって7・8月の天候が豊凶の分かれ目となる。低温なら冷害、降雨なき日照りなら干害（早魃）である。特に早魃は僅かに流れる水を奪い合うので人心を荒廃させた。我田引水・水引棒・水掛け論・夜水引き・水番等の言葉が生まれている。私も青年期に堰袋が破られないよう徹夜で水番した経験がある。

特に昭和18年（1943）の夏は記録的な早魃であった。我が子のように慈しんでいる稲が次々と枯れてゆくのは経済面だけでなく精神的にも過酷であった。そこで天然のダムである翁山山麓の「クルミ平沼」の水をさぐろう（放流しよう）と、村消防団長の発案で消防団、青年団等が出て、沼の落ち尻から600mほど先の「水引け沼」まで、人力で深さ2mのV字型の水路を掘った。水引け沼は名前の通り、囲りの岩盤には無数の穴があり雪解け期以外は水が貯まっていない。一説にはここから浸透した水は正徹の「はつすず」に湧き出ると言うが疑問である。



（左が水引け沼雪解け水ある、右がくるみ平沼）

水引け沼に怒涛の如く注がれた水はどこに出たのか、赤井川の水量も、はつすずの水も増えず徒労に終わったと言う。やはり明光寺伝説のミステリーな沼である。この年、その後降雨があったかは次号で。そして沼の出口を復元しなかったのが現在の様に極く小さな沼になってしまった。私が高橋国民学校初3年の時（1945）「平農場」に勤労奉仕で出た帰途、上級生と見たこのV字水路がすごく深かったことを今も記憶している。

近年、鉄魚を愛する会と宮沢翁塾ではクルミ平沼の自然保護活動の一環として「鉄魚」の産卵孵化を試み、稚魚を育て高橋小児童と共にこの沼に放流していた。

文責 宮沢地区歴史保存会 三浦 幹雄

お知らせ

【7月の行事予定】

おきな茶屋 ヨガ教室

7月13日（水）／7月27日（水）

時間：10：00～11：00

場所：尾花沢市地域交流センター

参加費：500円

持ち物：ヨガマット（なければバスタオル）

※感染症拡大予防のため、体調の優れない方の参加はご遠慮願います。当日の参加できます。

日	時間	内容
1日(金)	7：40	さわやかあいさつ運動
6日(水)	9：00	おきな茶屋
7日(木)	9：00	「なかじまばし」開通式典
10日(日)		参議院選挙
13・27日(水)	10：00	おきな茶屋ヨガ教室
14日(木)	5：30	中沢川砂防堰堤整備
15日(金)	10：00	笹巻&梅シロップ作り
24日(日)		尾花沢市長選挙

笹巻&梅シロップ 作り

日時 7月15日（金）

午前10時～12時

場所 宮沢地区公民館

参加人数 8名（先着順）

申込締切 7月8日（金）

※公民館に電話にて申してください

会費 500円

持ち物 エプロン・三角巾・マスク



宮沢地区の人口と世帯

（6／1現在）（前月比）

男 833人 (-2)

女 835人 (-5)

計 1668人 (-7)

世帯数 596世帯 (-2)